

4月6日授業開始にあたって本学のコロナウイルス感染防止対策【4月3日更新】

新潟リハビリテーション大学危機管理委員会

新型コロナウイルス感染症対策本部

学長 山村千絵

新型コロナウイルス感染症については、日々状況が変化しており、4月2日時点の国内の感染者数は2,381例に拡大しています（4月2日厚生労働省報告）。特に東京や大阪周辺の大都市圏を中心に増え続けており、今後もこの状況は継続することが予想されています。

こうした状況の中で、**本学は4月6日授業開始といたしました。**

理由の一つは、本学が位置する村上市内の感染者、濃厚接触者等はこれまでゼロであり、政府の3つの区分けでは村上市は「感染未確認地域」に相当（新潟県は「感染確認地域」）することがあげられます。

あわせて授業開始にあたっては、十分な感染防止対策をとった上で実施いたします。学生の安全・安心を図るよう努力いたしますので、ご理解くださるようお願いいたします。なお、本日現在、本学がとっている対策等については下記の通りです。

感染防止に対する国の指針（厚生労働省発信）

1) 以下の**3つの密を避ける**必要がある。そのためには、1人1人の行動変容（行動や意識を変える）が重要である。

- ① 換気の悪い**密閉空間**
- ② 多数が集まる**密集場所**
- ③ 間近で会話や発声をする**密接場面**

2) 対策の基本

- ① **手洗いの徹底**（正しい手洗い）
- ② **咳エチケット**（咳やくしゃみをするときは、マスク着用、ティッシュやハンカチ、袖で覆う）。マスクは正しく着用すること

本学の新型コロナウイルスへの対策

・国の指針遵守

指針遵守のための学生指導を行います。

・マスク着用

学内では、原則、全教職員、学生ともにマスク着用とします。

マスクがない場合や忘れた場合には、簡易マスクの作成キットを用意しています。

今後は自作マスクの講習も検討しています。

・45分ごとにチャイムをならして、教室を換気します。

・大学入構時の手指消毒、その他手洗いを励行させます。

このために、校舎の出入り口を制限するとともに、手指消毒液の配置場所や手洗い場所を記した校内案内図を配付しています。

・授業時の座席の間隔をあけます。身体接触のある実技等はいりません。

1. 教務に関連する事項

1) 健康管理について

検温の徹底：毎朝必ず熱を測ってください（夜も検温をして、発熱がないか確認してください）。その結果、以下の3つの項目全てに該当する場合は登校しないでください。

- **37.0度以上の熱がある**
- **倦怠感がある**
- **体調不良である**

ただし、熱が**37.5度以上の熱がある場合は、この項目だけで登校はできません**。授業がある場合は、9時15分までに学務に連絡してください。

日頃から、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠などを配慮した上で抵抗力を高めてください。

2) 授業や試験への対応について

- 休んだ学生への対応として、出来る限り Web 授業や課題の提示で当日の授業内容を教授し、授業出席とみなします。この日の内容理解や確認のため、小テストやレポート課題などで対応します。
- 今後の感染拡大状況により、通常の授業でも Web 授業や自宅学習（アクティブラーニング）の導入なども推進していきます。
- 当面は身体接触を伴う実習は行なわず、図やビデオなどの教材を利用して講義します。
- グループディスカッションなども行いません（密接を避けるため）。
- 講義中は学生・教員ともマスク着用、換気、濃厚接触等には注意します。

以上は、**当面は5月末までの対応とし、6月以降は状況を鑑みて解除・継続の判断**をします

2. 学生生活全般に関係する事項

1) 課外活動について

- 対外試合、遠征、ライブ、催し物等については、原則中止または延期してください。
- 練習、会合、通常の活動については自粛（原則行わない）してください。
- 懇親会、コンパ等の集会については、接触感染のリスクを踏まえ、原則中止としてください。

2) スクールバス利用について

- スクールバス利用時はマスクを必ず着用し、私語は控えてください。
- 熱などの風邪症状があり、体調不良の場合は利用しないでください（連絡等の手順を踏んだ上で、大学を休んでください）。
- 極力混み合う時間帯を避け、比較的空いている便を利用する（特に朝は混み合うため8時台の早い便を利用、増便についても検討中）などして接触しないよう心掛けてください。

3) 食堂（アクティブラーニングエリア）の使用について

食堂については、飲食するためにマスクを外さざるを得ないことから、以下 10 項目の感染防止策について厳守した上で利用してください。また、当面、個別にパッキングしたメニューを提供します。

【感染防止策】

- ① 手洗いは必ず済ませてくる。
- ② 食堂およびアクティブラーニングエリアの出入り口に設置してあるアルコールで手指消毒を行う。
- ③ 列に並ぶ時にはマスクをつけたままとし、会話を減らし、隣の人と一定の安全距離を保つ。
- ④ 空いている時は、向かい合って座るのではなく同じ方向を向いて座り、1メートル以上の距離を置くことが望ましい。
- ⑤ 食事のためにマスクを外す時には、その内側及び外側の衛生に注意し、汚染を回避するように保管する（アイラップなどを用意しておく）。
- ⑥ 食事中は会話を控える。
- ⑦ 食事中に、咳やくしゃみをする場合は、ティッシュで口と鼻を覆うか肘で覆うといった措置を講じること。
- ⑧ 特に混み合う時間帯については、窓を開けて十分な換気を徹底する。
- ⑨ アクティブラーニングエリアの丸テーブルについては、場合によっては連結して使用する。
- ⑩ 食事が済んだら早めに退室するよう心掛ける（混んでいる場合は席を譲る）

4) 図書館の利用について

図書館は4月末までは貸し出しのみの対応とします。学習等での利用は原則不可（特別に許可したものを除く）とします。

5) 学習センター、キャリア支援センターの利用について

学習センター、キャリア支援センターは、4月末までは相談のみ受付。学習等での利用はできません。

6) 海外渡航や国内移動について

海外旅行は禁止。国内の移動についても不要不急の移動は避けてください。

7) 基礎疾患や持病があり、日常的に服薬等を行っている場合への対応について

該当する場合は「**学生情報用紙**」に記入し、指示された場所に提出してください。情報は、個人情報ですので漏洩しないよう、大学で厳重管理します。

その他、コロナウイルス関連で不安な方や悩んでいる方は、「**学習センター**」を利用し気軽に相談してください。

3. 実習に関連する事項

本年度の臨床実習について、新型コロナウイルス感染拡大に伴い4月、5月の実習を変更しました。また、今後の予定についても、感染状況を鑑み変更する可能性があります。

- 4月、5月開始予定の各実習（理学療法学専攻1期、作業療法学専攻1期、言語聴覚学専攻）は延期ないし中止とします。
- 特に感染拡大地域と判断できる東京都とその近隣地域（茨城、千葉、埼玉、山梨、群馬、神奈川）、大阪、愛知、兵庫の各県で予定していた実習については、今年度は中止とします。
- 今回延期ないし中止となった実習は6月以降の状況を見て適宜振り替えて実施することがあります。
- 今回提示した方針は、今後の状況により変更することがあります。

※今回実習に予定していた期間については、感染防止に充分留意した上で、実習対策学修の充実、今年度末に控えた国家試験に向けた対策などに有効利用します。

なお、上記の内容については、3月25日の在学生オリエンテーション（2,3年生対象）時、専攻ごとの実習オリエンテーション（4年生対象）時、4月2日の新入生オリエンテーション（1年生対象）時などにおいて、学生に周知しているほか、随時指導を行っていきます。あわせて、学生向けポータルサイトでも、同様の内容を配信しています。

また、本情報は現時点での内容であり、変更もあります。その場合は、このサイトを通じて随時更新していきますので確認してください。

以上